



Parallels Remote Application Server

ライセンスガイド

Parallels International GmbH
Vordergasse 59
8200 Schaffhausen
スイス
Tel: + 41 52 672 20 30
www.parallels.com

© 2021 Parallels International GmbH. All rights reserved. Parallels および Parallels ロゴは、カナダ、米国またはその他の国における、Parallels International GmbH の商標または登録商標です。

Apple、Safari、iPad、iPhone、Mac、macOS、iPadOS は、Apple Inc.の登録商標です。Google、Chrome、Chrome OS、Chromebook は、Google LLC の登録商標です。

その他のすべての社名、製品名、サービス名、ロゴ、ブランド、またすべての登録商標または未登録商標は、識別の目的でのみ使用されているものであり、それぞれの所有者の独占的な財産となります。サードパーティーに関わるブランド、名称、ロゴ、その他の情報、画像、資料の使用は、それらを推奨することを意味するものではありません。当社は、これらサードパーティーに関わる情報、画像、素材、マーク、および他社の名称について所有権を主張するものではありません。特許に関するすべての通知と情報については、<https://www.parallels.com/jp/about/legal/>をご覧ください。

目次

はじめに	4
ライセンスの購入とアップグレード	5
Parallels RAS ライセンス	5
ライセンスの過剰使用	6
ライセンスの購入	7
既存ライセンスのアップグレード	7
サインアップとサブスクリプションの登録	8
Parallels アカウントの作成とサブスクリプションの登録	8
ビジネス アカウントの作成	12
サブスクリプションの登録	13
Parallels RAS のアクティベート	14
サブスクリプションとライセンスの管理	15
サブスクリプションとサブスクリプションの詳細の表示	15
ライセンスキーの追加作成	18
Parallels RAS ファームの管理	20
アカウントの管理	22
アカウント間の切り替え	22
ビジネス プロフィールの表示と変更	23
ビジネス アカウントに参加するユーザーの招待	24
ビジネス アカウントからのユーザーのブロックと削除	26
Parallels RAS での Microsoft ライセンス要件	28

第 1 章

はじめに

本書では、Parallels® Remote Application Server (以下、Parallels RAS) のサブスクリプションとライセンスの管理方法について説明します。まず、ライセンスの購入とアップグレードの方法について説明します。次に、Parallels アカウントのサインアップ方法とサブスクリプションの登録方法を説明します。その後、Parallels アカウントを使用してアカウント、サブスクリプション、およびライセンスを管理する方法について説明します。

ライセンスの購入とアップグレード

Parallels RAS のライセンスには、いくつかのオプションがあります。この章では、お客様に最適なライセンスオプションと、ライセンスの購入およびアップグレード方法について説明します。

本章の内容

Parallels RAS ライセンス	5
ライセンスの過剰使用	6
ライセンスの購入	7
既存ライセンスのアップグレード	7

Parallels RAS ライセンス

Parallels RAS は同時接続ユーザーライセンスを使用しています。つまり、Parallels RAS に同時にアクセスするユーザー数が同時ユーザーライセンス数を超えない限り、ユーザーは Parallels RAS に任意の数の接続を確立することができます。

以下の例で考えてみましょう。

- 1 人のユーザー、1 台のデバイス、1 つの接続 - 1 つのライセンスが必要です。
- 1 人のユーザー、1 台または複数のデバイス、複数の接続 - 1 つのライセンスが必要です。
- 複数のユーザー、それぞれが 1 つまたは複数の接続を確立 - 各ユーザーに 1 つのライセンスが必要です。すべてのライセンスを使い切った場合、次のユーザーは、現在のユーザーのいずれかがすべてのセッションからログアウトするのを待つ必要があります。

接続形態とユーザー権限によるライセンス消費量は以下のとおりです。

接続形態	ユーザーの権利	RAS ライセンスの消費
RAS デスクトップ / 公開アプリケーション接続	非管理者	消費する
RDP デスクトップ / 公開アプリケーション接続	非管理者	消費する
RAS 公開アプリケーション接続	管理者	消費する
RAS 公開デスクトップ接続 *	管理者	消費しない
RDPによるデスクトップ直接接続またはトンネル接続 *	管理者	消費しない

* RD セッションホストサーバー 1 台あたり、どちらのタイプも最大 2 接続まで可能です。

プリペイド型サブスクリプション

Parallels RAS のライセンスは、プリペイド型サブスクリプションで、次のように機能します。

- アクティブなサブスクリプションによって、Parallels RAS の新バージョンが利用可能になったときにアップグレードすることができます。
- サブスクリプションは、1 か月、1 年、2 年、または 3 年間のうち、事前に定義された期間分を購入します。1 か月サブスクリプションはオンラインでのみ購入可能です。
- オンラインでサブスクリプションを購入した場合、デフォルトでは、サブスクリプション期間が終了すると自動的に更新されるように設定されています。再販業者を通じて購入されたサブスクリプションは、再販業者を通じて更新する必要があります。
- サポートはサブスクリプションの費用に含まれています。サポートプランは、スタンダードまたはプレミアムのいずれかを選択することができます。

猶予期間

ライセンスの有効期限が切れた場合、Parallels RAS は 30 日の猶予期間内にサブスクリプションを更新する必要があります。猶予期間はサブライセンスには適用されませんのでご注意ください。サブライセンスについては、「**ライセンスキーの追加作成**」(p. 18) で説明します。

マイクロソフトのライセンス

「**Parallels RAS での Microsoft ライセンス要件**」(p. 28) についてもお読みください。

ライセンスの過剰使用

Parallels RAS には 7 日間の猶予期間があり、この期間中はサブスクリプションの条件よりも多くのユーザーをファームに接続することができます。増加した同時接続ユーザーにアクセスを提供し続けるには、猶予期間が終了する前にライセンスを追加購入する必要があります。7 日間の猶予期間は、ライセンスを追加購入した後、再び使用することができます。

猶予期間の終了までにライセンスを追加購入しない場合、同時使用ユーザー数がサブスクリプションで指定された上限を超えない限り、Parallels RAS ファームは正常に動作し続けます。同時接続ユーザー数が常時制限を超えた場合、Parallels RAS ファームは一時的に停止されます。つまり、どのユーザーもファームから公開されているリソースの一覧を取得したり、それらのリソースを使用したりすることができなくなります。なお、ライセンスの過剰使用が発生した場合、すぐに無効化が行われるとは限りませんが、1 ～ 2 時間以内には行われます。ファームを再アクティブ化するためには、同時使用ユーザー数がライセンス制限を超えないようにする必要があります。Parallels RAS は 20 分ごとに検証を実行します。同時接続ユーザー数が制限値以下になったことが検出されると、すぐにファームを再起動します。

ライセンスの購入

Parallels RAS ライセンスは、オンラインで購入するか、Parallels パートナーにお問い合わせください。

オンラインでのライセンス購入

<https://www.parallels.com/jp/products/ras/buy/> にアクセスする。

Parallels パートナーを介してのライセンス購入

お近くの Parallels パートナーは、<https://www.parallels.com/partners/locator/> を参照してください。

ライセンスを購入すると、Parallels パートナーから Parallels RAS のアクティベートに使用するライセンスキーが 1 つ提供されます。1 つのキーで、すべてのライセンスを登録およびアクティベートすることができます。

Parallels アカウントをまだお持ちでない場合は、アカウント登録のための招待状もお送りします。

重要：ライセンスキーは、Parallels RAS の 1 つのインストールをアクティベートするために使用できます。アクティベートしたインストールは最大 3 回まで変更できます（バックアップ目的、以前にアクティベートしたサーバーが破損または盗難に遭った場合など）。複数の Parallels RAS インストールをアクティベートして同時に動作させる必要がある場合は、複数のライセンスキーが必要です。

既存ライセンスのアップグレード

アップグレードの対象

以下のいずれかに該当するお客様は、Parallels RAS の最新バージョンに無料でアップグレードすることができます。

- 有効な Parallels RAS サブスクリプション。
- 永久ライセンスと有効なアップグレード保険に加入している。

第 3 章

サインアップとサブスクリプションの登録

Parallels RAS サブスクリプションを購入したら、Parallels RAS ファームをアクティベートする前に Parallels マイアカウントにライセンスキーを登録する必要があります。登録することで、サブスクリプションとライセンスを一箇所で管理することができます。

本章の内容

Parallels アカウントの作成とサブスクリプションの登録.....	8
ビジネスアカウントの作成.....	12
サブスクリプションの登録.....	13
Parallels RAS のアクティベート	14

Parallels アカウントの作成とサブスクリプションの登録

Parallels マイアカウントは、Parallels の顧客（コンシューマおよび組織）が Parallels 製品のサブスクリプションとライセンスを確認および管理できるようにするウェブサービスです。以下の手順で、Parallels マイアカウントを簡単に使用方法を説明します。

個人用アカウントとビジネス アカウント

Parallels アカウントには 2 つのタイプがあります。

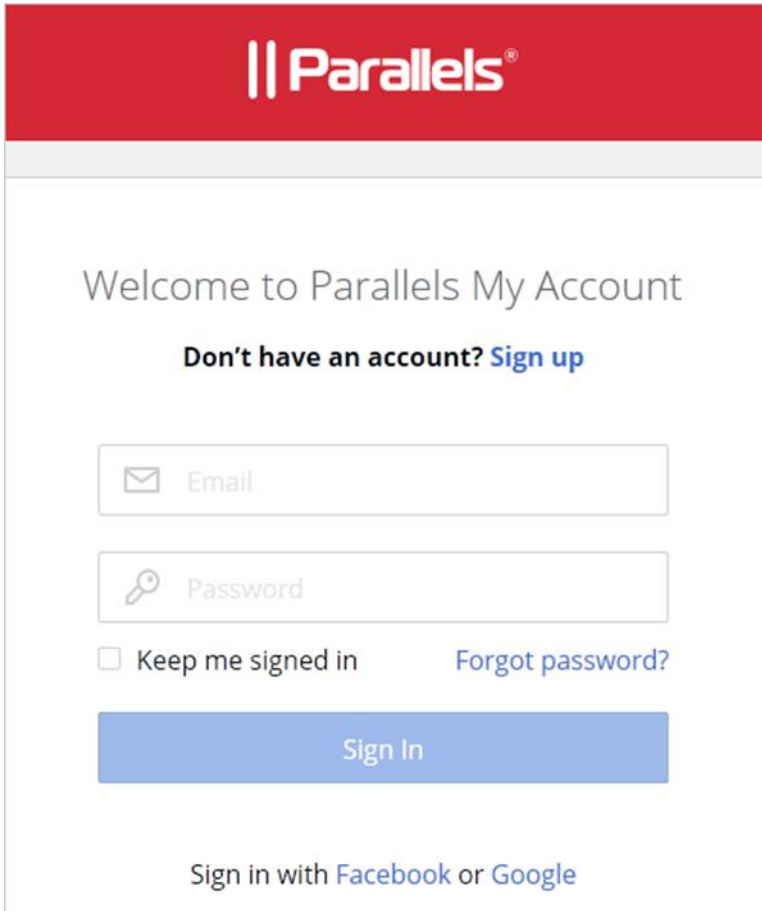
- 個人用アカウントは、Parallels コンシューマ製品のサブスクリプションを管理するために使用します。このアカウントは、Parallels ビジネス製品を管理する場合にも必要です。
- ビジネス アカウントは、Parallels RAS などのビジネス製品を管理するために使用されます。ビジネス アカウントは、ビジネス サブスクリプションの初回登録時にお客様の組織用に作成されます。

次に読むべき記事

- 新規のお客様で、Parallels アカウントをお持ちでない場合は、このセクションを読み進めてください。
- 個人用アカウント（ビジネス アカウントではない）を既にお持ちの場合は、「**ビジネス アカウントの作成**」（p.12）に進んでください。
- 個人アカウントとビジネス アカウントの両方をお持ちの場合は、「**サブスクリプションの登録**」（p.13）に進むことができます。

Parallels アカウントの作成

- 1 Parallels マイアカウント (<https://my.parallels.com>) にアクセスします。
- 2 [Parallels マイアカウントへようこそ] ページで、[サインアップ] をクリックします。



The screenshot shows the Parallels My Account sign-in page. At the top is a red header with the Parallels logo. Below the header, the text "Welcome to Parallels My Account" is displayed. Underneath, there is a link "Don't have an account? Sign up". The sign-in form consists of two input fields: "Email" with an envelope icon and "Password" with a key icon. Below the password field, there is a checkbox labeled "Keep me signed in" and a link "Forgot password?". A blue "Sign In" button is positioned below the form. At the bottom of the page, there is a link "Sign in with Facebook or Google".

- 3 名前、メールアドレス、パスワードを入力します。

Register Your Parallels Account

Already have an account? [Sign in](#)

First Name

Last Name

Email

Password

Repeat Password

Keep me signed in

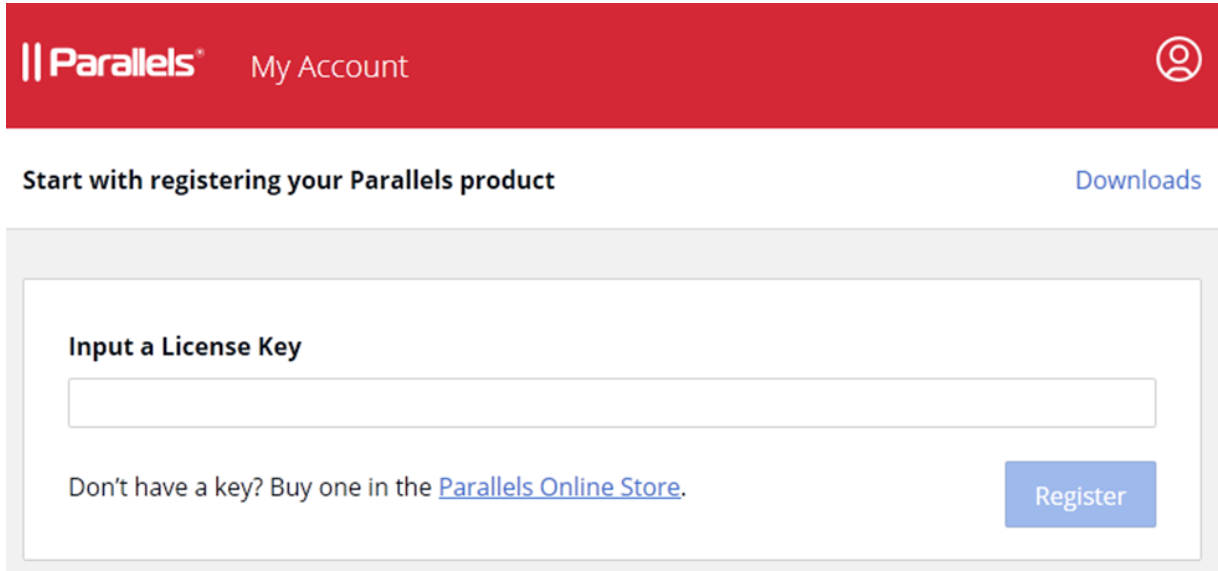
I agree with [Parallels Terms of Use](#)

Sign up with [Facebook](#) or [Google](#)

- 4 [\[Parallelsの利用規約\]](#) を読み、同意する場合は [\[Parallelsの利用規約に同意します\]](#) オプションを選択します。

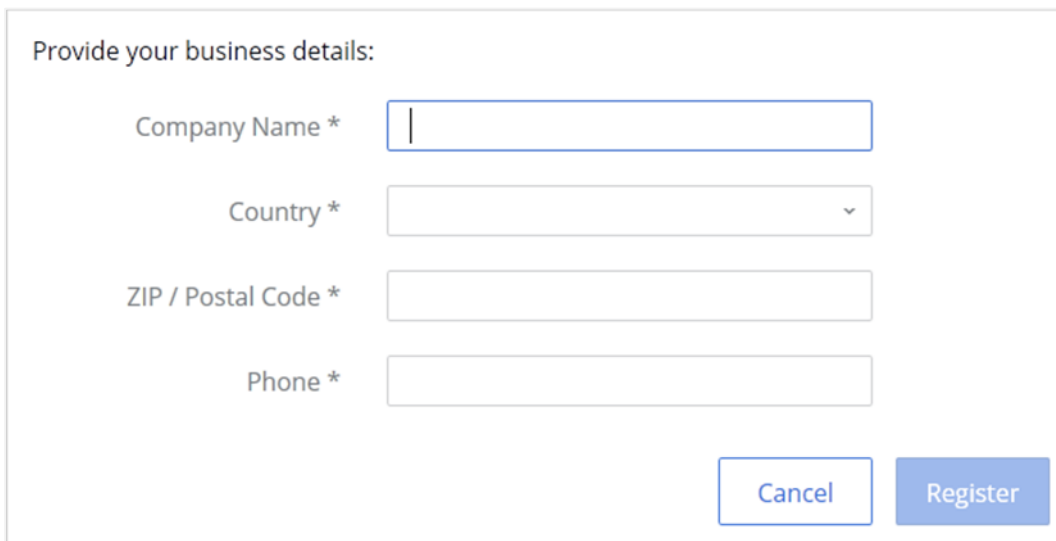
- 5 [\[サインアップ\]](#) をクリックして続行します。

- 6 開いたダイアログで、サブスクリプションで受け取った Parallels RAS ライセンスキーを入力し、**[登録する]** をクリックします。



The screenshot shows the Parallels My Account interface. At the top, there is a red header with the Parallels logo and "My Account" text, and a user profile icon. Below the header, there are two tabs: "Start with registering your Parallels product" (active) and "Downloads". The main content area is a light gray box containing a white form titled "Input a License Key". The form has a single text input field. Below the input field, there is a link: "Don't have a key? Buy one in the [Parallels Online Store](#)." and a blue "Register" button.

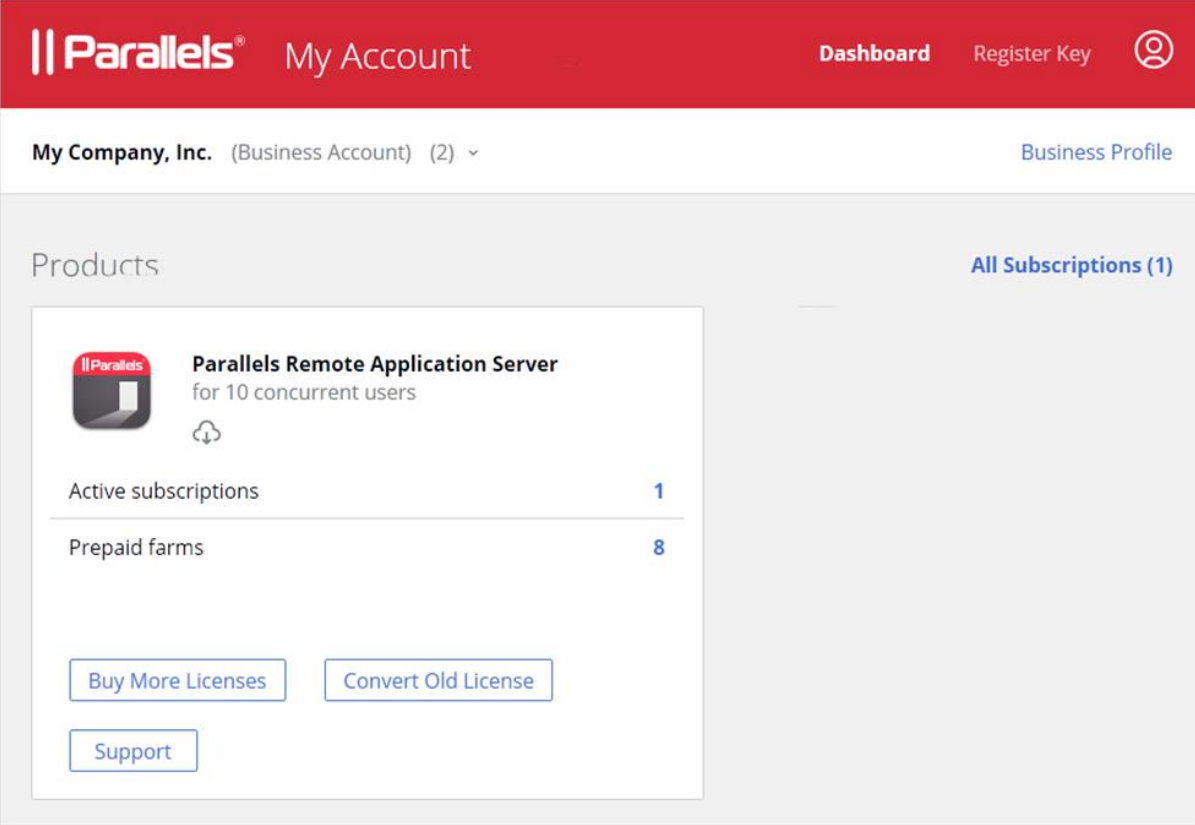
- 7 **[お客様の事業内容を入力してください]** ダイアログで、会社名、住所、電話番号を入力します。



The screenshot shows a dialog box titled "Provide your business details:". It contains four input fields: "Company Name *", "Country *", "ZIP / Postal Code *", and "Phone *". The "Country" field is a dropdown menu. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "Cancel" and "Register".

- 8 **[登録する]** をクリックします。

- 9 これで、Parallels アカウントのホームページである [ダッシュボード] が表示され、登録済みのサブスクリプションを確認することができます。



The screenshot shows the Parallels My Account dashboard. At the top, there is a red header with the Parallels logo, 'My Account', and links for 'Dashboard', 'Register Key', and a user profile icon. Below the header, the account name 'My Company, Inc. (Business Account) (2)' is displayed, along with a 'Business Profile' link. The main content area is titled 'Products' and shows a card for 'Parallels Remote Application Server for 10 concurrent users'. The card includes a table with the following data:

Subscription Type	Count
Active subscriptions	1
Prepaid farms	8

Below the table are three buttons: 'Buy More Licenses', 'Convert Old License', and 'Support'. To the right of the products section, there is a link for 'All Subscriptions (1)'. At the bottom of the dashboard, a hint box contains the following text:

ヒント : Parallels マイアカウントの他のエリアから [ダッシュボード] に戻るには、ページのヘッダーにある [ダッシュボード] リンクをクリックします。

概要

上記の手順が完了したら、以下が実行できます。

- 個人用の Parallels アカウントが作成されます。
- 組織用のビジネス Parallels アカウントが作成され、アカウント管理者として割り当てられます。
- Parallels RAS ライセンスキーが登録され、Parallels RAS ファームをアクティベートするために使用できるようになります。

ビジネス アカウントの作成

Parallels の個人アカウント (ビジネス アカウントではない) を既にお持ちで、購入したビジネス サブスクリプションを登録する必要がある場合は、以下を実行してください。

- 1 Parallels マイアカウント (<https://my.parallels.com>) にアクセスします。

- 2 メールアドレスとパスワードでサインインします。
- 3 ページヘッダーの **【レジスターキー】** をクリックします。
- 4 Parallels RAS のライセンスキーを入力し、**【登録する】** をクリックします。
- 5 **【お客様の事業内容を入力してください】** ダイアログで、会社名、住所、電話番号を入力します。

Provide your business details:

Company Name *	<input type="text"/>
Country *	<input type="text"/>
ZIP / Postal Code *	<input type="text"/>
Phone *	<input type="text"/>

- 6 **【登録する】** をクリックします。
- 7 **【ダッシュボード】** に移動し、登録したサブスクリプションを確認できます。

概要

上記の手順が完了したら、以下が実行できます。

- Parallels ビジネス アカウントが作成され、アカウント管理者として割り当てられます。
- Parallels RAS ライセンスキーが登録され、Parallels RAS ファームをアクティベートするために使用できるようになります。

サブスクリプションの登録

既存のビジネス アカウントを使用してビジネス サブスクリプションを登録する場合は、以下を実行してください。

- 1 E メールアドレスとパスワードを使用して Parallels マイアカウントにサインインします。
- 2 ページヘッダーの **【レジスターキー】** をクリックします。
- 3 ライセンスキーを入力し、**【登録する】** をクリックします。

これでサブスクリプションが登録され、Parallels RAS ファームをアクティベートするために使用できるようになります。

Parallels RAS のアクティベート

Parallels マイアカウントでサブスクリプションを登録した後、ライセンスキーを使用して Parallels RAS ファームをアクティベートすることができます。

Parallels マイアカウントへのサインイン

Parallels RAS コンソールを開きます。初めて実行すると、**[Parallels マイアカウントにサインイン]** ダイアログが表示されます。既にアカウントをお持ちの場合は、電子メールアドレスとパスワードを入力して **[サインイン]** をクリックします。

Parallels アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順で登録することができます。

- 1 **[Parallels マイアカウントにサインイン]** ダイアログで、**[登録する]** をクリックします。**[Parallels マイアカウントの登録]** ダイアログボックスが表示されます。
- 2 名前、メールアドレス、任意のパスワード、会社情報を入力します（すべてのフィールドが必須です）。
- 3 **[登録する]** をクリックして、アカウントを登録します。これにより、個人用のアカウントと、アカウント管理者として割り当てられる組織用のビジネス アカウントが作成されます。

アカウントが正常に登録されたことを示す確認メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして、メッセージボックスを閉じます。**[Parallels マイアカウントにサインイン]** ダイアログで、電子メールアドレスとパスワードを入力して **[サインイン]** をクリックします。**[製品のアクティベート]** ダイアログが表示されます。

Parallels RAS のアクティベート

RAS コンソールで Parallels マイアカウントにサインインすると、Parallels RAS をアクティベートするための **[製品のアクティベート]** ダイアログが表示されます。**[ライセンスキーを使用してアクティベートする]** オプションを選択し、提供されるフィールドにキーを入力します。フィールドの横にあるボタンをクリックすると、Parallels マイアカウントに登録したサブスクリプションまたはパーマネント ライセンスキーのリストが表示されます。

Parallels RAS サブスクリプションまたはライセンスキーをお持ちでない場合は、以下のオプションがあります。

- **[ライセンスの購入]** リンクをクリックし、オンラインでサブスクリプションを購入する。
- 試用版として Parallels RAS をアクティベートするには、**[試用版をアクティベートする]** オプションを選択します。

ライセンスキーを入力（または試用版のアクティベートを選択）したら、**[アクティベート]** をクリックします。すると、Parallels RAS ファームが正常にアクティベートされたことを示すメッセージが表示されます。**[OK]** をクリックしてメッセージボックスを閉じます。

Parallels アカウントを使用してビジネス アカウントと Parallels RAS ライセンスを管理する方法については、次の章を参照してください。

サブスクリプションとライセンスの管理

この章では、Parallels アカウント、サブスクリプション、およびライセンスの管理方法について説明します。

本章の内容

サブスクリプションとサブスクリプションの詳細の表示	15
ライセンスキーの追加作成	18

サブスクリプションとサブスクリプションの詳細の表示

Parallels RAS サブスクリプションを表示するには、以下の手順に従います。

- 1 Parallels アカウントにサインインします。
- 2 **[ダッシュボード]** ページが表示されていない場合は、ページヘッダーの **[ダッシュボード]** をクリックします。

3 [商品] ページには、サブスクリプション情報が入力されます。

The screenshot shows the Parallels My Account dashboard. At the top, there is a red header with the Parallels logo, 'My Account', and navigation links for 'Dashboard', 'Register Key', and a user profile icon. Below the header, the account name 'My Company, Inc. (Business Account) (2)' is displayed, along with a 'Business Profile' link. The main content area is titled 'Products' and features a card for 'Parallels Remote Application Server for 10 concurrent users'. The card includes a Parallels logo, a cloud icon, and a table showing subscription counts: 'Active subscriptions' (1) and 'Prepaid farms' (8). Below the table are three buttons: 'Buy More Licenses', 'Convert Old License', and 'Support'. To the right of the card, there is a link for 'All Subscriptions (1)'.

アクティブなサブスクリプション

アクティブなサブスクリプションを表示するには、[アクティブなサブスクリプション] の行をクリックします。これにより、アクティブなサブスクリプションのページが表示されます。

The screenshot shows the Parallels My Account dashboard with the 'Remote Application Server' page selected. The header is the same as in the previous screenshot. Below the header, the breadcrumb 'Dashboard > Remote Application Server' is visible, along with 'Prepaid Farms (8)', 'Download', and 'More' options. A search bar is present, followed by filters for 'Display: Active (1)' and 'Arrange by: End Date ↑'. The main content area displays a single subscription entry: 'Parallels Remote Application Server Subscription'. Below this, it shows 'Parallels Remote Application Server' and 'Subscription valid until January 11, 2020'.

サブスクリプションの詳細

サブスクリプションの詳細を表示するには、サブスクリプション名をクリックします。

The screenshot shows the 'Parallels My Account' interface. The breadcrumb trail is 'Dashboard > Subscriptions > Subscription Details'. The main heading is 'Parallels Remote Application Server Subscription'. The page is divided into several sections:

- Status:** Shows 'Active' in green. Below it, 'Subscription Renewal is Off' with a 'Turn On' button.
- Activation Date:** January 11, 2017
- Expiration Date:** January 11, 2020
- Orders History:** A link to view order history.
- Products:** A table with columns 'Products' and 'Qty'. It lists 'Parallels Remote Application Server' with a quantity of 10.
- Contract Details:** A link to view contract details.
- Buy More Licenses:** A blue button to purchase additional licenses.
- License Keys (1):** A section with a 'Create License Key' button.
- License Key Table:** A table with columns 'Name', 'Type', 'Quota', and 'Expires On'. It contains one row for a 'Primary Key' with a quota of 10 and an expiration date of January 11, 2020.

[サブスクリプションの詳細] ページには、ステータス、日付、ライセンス数など、一般的なサブスクリプション情報が表示されます。アクションリンクでは、サブスクリプションの更新のオン / オフ、注文履歴と契約の詳細の確認、ライセンスの追加購入ができます。

サブスクリプションの表示名を変更するには、 リンクをクリックします (ページの一番上)。

[ライセンスキー] セクションには、サブスクリプションに付属する主キーと、1 つまたは複数の追加ライセンスキー (サブライセンスとも呼ばれる) の情報が表示されます (利用可能な場合)。リストの上にある **[ライセンスキーの作成]** リンクをクリックすると、追加のキーを作成することができます。詳細は、「**ライセンスキーの追加作成**」(p.18) を参照してください。

希望する列の見出しをクリックすると、ライセンスキーのプロパティの 1 つでリストを並べ替えることができます。

ライセンスキーの追加作成

サブスクリプションを購入すると、プライマリーと呼ばれる 1 つのライセンスキーが発行されます。多くのビジネスシーンでは、1 つのライセンスキーでは十分な柔軟性が得られない場合があります。そのため、Parallels では、プライマリーにリンクする追加のライセンスキー（サブライセンスとも呼ばれる）を作成する機能が用意されています。ライセンスキーを作成する際に、希望するライセンス数を割り当て、有効期限を指定することができます。

注：このガイドで前述した猶予期間（有効期限）は、プライマリ / ライセンスキーにのみ適用されることにご注意ください。

ライセンスキーの計画

ライセンスキーの追加は、以下のような典型的なシナリオで有効です。

- 組織内のある部門に、利用可能なライセンス数（同時使用ユーザー数）を制限して使用する能力を与えたい場合。必要なライセンス数のライセンスキーを作成し、その部門の管理者に渡すことができます。
- 他の Parallels RAS 管理者にプライマリーキーを管理させないようにすることができます。追加のライセンスキーを作成し、その管理者に渡すことができます。

ライセンスキーに割り当てられたすべてのライセンスは、その特定のキー専用予約されています。どのライセンスも（未使用のものも含めて）、主キーや他の追加キーでは使用できません。

注：この記事の執筆時点では、ライセンスチェックは定期的に行われているため、指定された上限値をハードリミットとみなすべきではないことを意味します。

ライセンスキーの作成

追加のライセンスキーを作成するには、以下を実行します。

- 1 **[サブスクリプションの詳細]** ページで、**[ライセンスキーの作成]** をクリックします。**[ライセンスキー]** ダイアログが表示されます。

以下のプロパティを指定することができます。

- ライセンスキーの表示名を変更するには、[鉛筆] アイコンをクリックし、希望する名前を入力します。
- このライセンスキーの表示名を変更するには、[鉛筆] アイコンをクリックして、希望する名前を入力します。**[ライセンス数]** フィールドでは、キーに含めるべき個々のライセンス（同時使用ユーザー）の希望数を指定します。
- このライセンスキーの有効期限を主キーと同じにしたい場合は、**[サブスクリプションの更新]** オプションを選択します。また、サブスクリプションを更新すると、キーは自動的に更新されます。カスタム有効期限を設定するには、このオプションをオフにして、**[有効期限]** フィールドに日付を入力します。

- 2 **[保存]** をクリックして、ライセンスキーを作成します。

ライセンスキーの修正または削除

既存のライセンスキーを変更するには、「サブスクリプションの詳細」ページ (p. 17) が表示されていることを確認します。ライセンスキーの行の末尾にある [歯車] アイコンをクリックします。ライセンスキーのプロパティを変更するためのダイアログが表示されます。

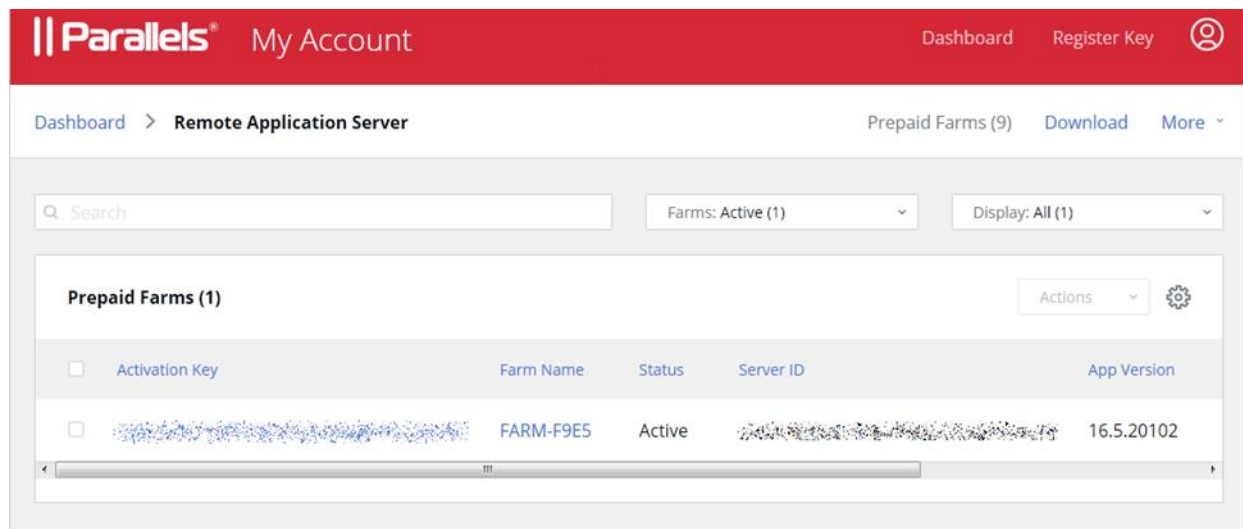
ライセンスキーを削除するには、**[キーの削除]** をクリックします。このライセンスキーを使用してアクティブな Parallels RAS ファームがある場合、そのライセンスキーは無効になりますのでご注意ください。

注： ライセンスキーを管理する管理者を 1 名以上指定することができます。例えば、組織内の特定の部署で使用するライセンスキーを作成する場合、その部署の管理者をビジネス アカウントに招待し、その特定のライセンスキーを管理する権利を与えることができます。詳細については、「**ビジネス アカウントに参加するユーザーの招待**」 (p. 24) および「**ライセンス管理者を管理する**」を参照してください。

Parallels RAS ファームの管理

アクティブな Parallels RAS ファームを表示するには、以下の手順に従います。

- 1 Parallels マイアカウントで、**[ダッシュボード]** をクリックします。
- 2 **[Parallels リモート アプリケーション サーバー]** ボックス内の **[プリペイドファーム]** 行をクリックします。これにより、有効なファームと無効なファームの一覧ページが表示されます（存在する場合）。アクティブなファームのみを表示するには、**[ファーム]** ドロップダウンメニュー（リストの上）をクリックし、**[アクティブ]** を選択します。




リストを縦方向にスクロールすると、表示されているすべての列が表示されます。表示する列を選択するには、**[歯車]** アイコンをクリックし、以下から選択します。

- **ファーム名**：ファーム名
- **アクティベートキー**：ファームをアクティブにするために使用されたライセンスキー。
- **ステータス**：ファームの状態（アクティブ、非アクティブ）。
- **サーバーID**：ホストサーバーの ID。
- **アプリのバージョン**：Parallels RAS のバージョン番号。
- **アクティブ化日**：ファームのアクティブ化日。
- **最新レポート日**：ファームが最後に Parallels クラウドに接続した日付。
- **ピーク使用量**：記録された同時使用ユーザーのピーク数。
- **ノート**：ファームに関するカスタムメモ。メモを入力する方法については、以下を参照してください。

[アクション] ドロップダウンメニューでは、リストを CSV ファイルに保存したり、選択した 1 つまたは複数のファームを非アクティブにしたりできます（このセクションの最後にある **[ファームの無効化]** を参照）。ファームを選択するには、最初の列のチェックボックスをクリックします。リスト内のすべてのファームを選択するには、表ヘッダーのチェックボックスをクリックします。1 つまたは複数のファームが選択されると、**[アクション]** メニューが有効になります。

ファームの概要情報を表示するには、**[ファーム名]** 列でその名前をクリックします。すると、以下のダイアログが表示されます。

MTF9E5 	
Active	<input type="button" value="Deactivate"/>
Server ID	[REDACTED]
App. Version	16.5.20102
Activation Key	[REDACTED]
Activation Date	02/20/2018, 3:48 PM
Last Report Date	03/12/2018, 2:30 PM
Peak Usage	1
Notes	<input type="text" value="This is a note"/>
<input type="button" value="Cancel"/> <input type="button" value="Save"/>	

ここでは、ファームの概要情報を表示し、**[ノート]** 編集ボックスを使用してカスタムノートを入力することができます。

ファームの無効化

[プリペイドファーム] ページ（上記参照）の **[アクション]** ドロップダウンメニューをクリックするか、ファームの詳細ダイアログ（上記スクリーンショット参照）で **[無効化]** ボタンをクリックすると、ファームを無効化することができます。

ファームは、次回 Parallels cloud に接続したときに無効化されます。ファームが無効化されると、ユーザーはそのファームに接続できなくなります。ファームで使用されていたライセンスキーは使用可能になるため、別の Parallels RAS ファームをアクティベートする際に使用することができます。

アカウントの管理

この章では、Parallels アカウントを管理する方法について説明します。

本章の内容

アカウント間の切り替え.....	22
ビジネス プロフィールの表示と変更.....	23
ビジネス アカウントに参加するユーザーの招待.....	24
ビジネス アカウントからのユーザーのブロックと削除.....	26

アカウント間の切り替え


Parallels マイアカウントにログインするときは、個人アカウントの認証情報を使用します。ログインしたら、左上隅のドロップダウンメニューをクリックしてアカウントを選択することで、個人用と組織用のアカウントを切り替えることができます。



アカウントを選択すると、**[ダッシュボード]** にそのアカウントで登録されている Parallels 製品が自動的に表示されます。**[ビジネス プロフィール]** を選択すると、ページのナビゲーションエリアにビジネス プロフィールの項目が追加されます。



[ビジネス プロフィール] の項目をクリックすると、組織のビジネス アカウントを表示および管理するためのページが開きます。

ページヘッダーの  アイコンをクリックすると、メニューが表示され、以下の項目を表示・選択することができます。

- お客様のお名前と E メールアドレス。
- **個人プロフィール**：個人アカウント情報を確認・変更するためのページが表示されます。
- **セキュリティ設定**：アカウントのセキュリティ設定を確認するページが開きます。
- **ログアウト**：Parallels マイアカウントからログアウトします。

ビジネス プロフィールの表示と変更

組織のビジネス プロフィールを表示および変更するには、右上隅にある **[ビジネス プロフィール]** 項目をクリックします。これにより、**[ビジネス プロフィール]** ページが表示されます。

The screenshot displays the 'My Account' page for Parallels, specifically the 'Business Profile' section. The page is divided into several panels:

- Company**: Shows 'Support Code: 19240-41140' and company details: 'My Company, Inc.', 'Washington, United States 98004', and 'tel.: (425)123-4567'. An 'Edit' button is located at the bottom right of this panel.
- Membership**: Shows 'Role: Account Administrator' and 'Member since: 10/16/2016'. A 'Leave This Business Account' button is located at the bottom right of this panel.
- Account Admins**: Shows 'John Brown' as the account administrator.

[編集] ボタンをクリックすると、**[会社情報の編集]** ダイアログが表示されます。そのページで任意の情報を変更することができます。編集が完了したら、**[保存]** をクリックします。

[ビジネス プロフィール] ページの **[メンバーシップ]** エリアには、あなたの役割（例：アカウント管理者）およびアカウントのメンバーシップの開始日が表示されます。**[このビジネス アカウントから退会する]** ボタンをクリックすると、ビジネス アカウントのメンバーシップを終了することができます。このアカウントの管理者があなただけの場合、あなたがアカウントから抜ける前に、少なくとももう一人のユーザーをアカウント管理者に招待する必要がありますので、ご注意ください。

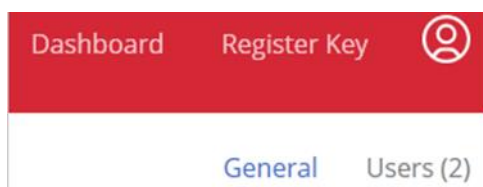
[アカウント管理者] セクションは、アカウント管理者をリストアップします。詳細については、「[ビジネス アカウントに参加するユーザーの招待](#)」(p. 24) を参照してください。

ビジネス アカウントに参加するユーザーの招待

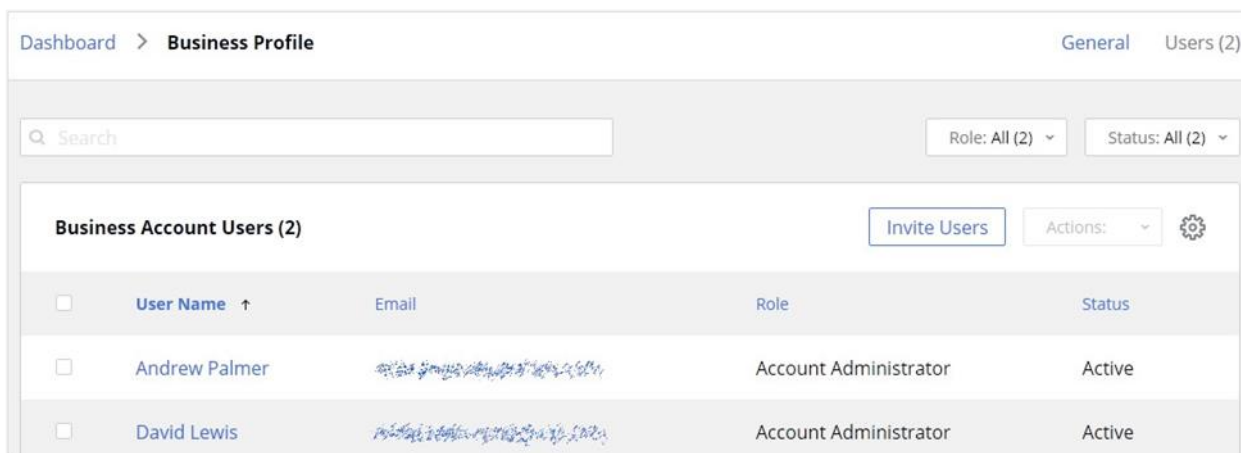
ビジネス アカウントの管理者として、組織内の他のユーザーを招待することができます。ユーザーがアカウントに参加すると、そのユーザーにすべてまたは特定のライセンスキーを管理する権利を与えることができます。

ビジネス アカウントに参加するユーザーを招待するには、以下の手順に従います。

- 1 [ダッシュボード] で、右上の [ビジネス プロフィール] をクリックし、[ユーザー] (同じく右上) をクリックします。

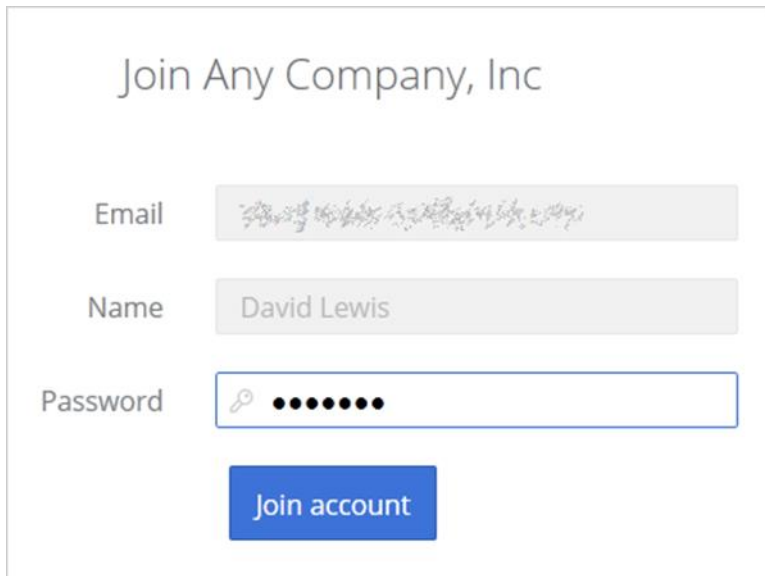


- 2 [ビジネス アカウントユーザー] リストが表示されます。



- 3 [ユーザーの招待] をクリックします。
- 4 開いたダイアログで、招待する言語を選択し、ユーザーの電子メールアドレスを入力して、[追加] をクリックします。複数のユーザーを同時に招待することができます。ユーザーのリストが完成したら、[招待状を送信する] ボタンをクリックします。

ユーザーがメールを受信すると、ビジネス アカウントに参加するための手順とリンクが記載されています。リンクをクリックすると、ウェブブラウザで以下のような Parallels マイアカウントダイアログが表示されます。



The screenshot shows a web form titled "Join Any Company, Inc". It contains three input fields: "Email" with a blurred placeholder, "Name" with the text "David Lewis", and "Password" with a masked input (dots) and a toggle icon. Below the fields is a blue button labeled "Join account".

ユーザーが既に個人アカウントをお持ちの場合は、現在のパスワードを入力する必要があります。アカウントをお持ちでない場合は、個人アカウントを作成するためのパスワードを選択し、入力する必要があります。その後、**[アカウント登録]** をクリックして Parallels マイアカウントに参加し、ログインします。

ビジネス アカウント・メンバーシップの種類

ビジネス アカウント・メンバーシップには 2 つのタイプがあります。

- **正会員**：ユーザーが招待を受け入れると、最初はレギュラー メンバーの特権が与えられます。レギュラー メンバーは、サブスクリプションやライセンスを管理することができないため、アカウント管理者に昇格するか（詳細は後述）、特定のライセンスキーを管理する権利を付与する必要があります（「**ライセンス管理者の管理**」を参照）。
- **アカウント管理者**：アカウント管理者は、利用可能なすべてのサブスクリプションとライセンスを管理する全権限を有します。

ユーザーをアカウント管理者に昇格させる

ユーザーをビジネス アカウントの管理者に昇格させるには、次の操作を行う必要があります。

- 1 **[ビジネス アカウント ユーザー]** リスト（上記参照）を開き、昇格させたいユーザー名をクリックします。

2 ユーザーのメンバーシップ情報を表示するダイアログが開きます。

Andrew Palmer

Active Block

Email [Redacted]

Role
 Regular Member
 Account Administrator

Notes

[Empty text box]

Delete Cancel Save

3 **[役割]** ドロップダウンメニューをクリックし、**[アカウント管理者]** を選択します。

4 **[メモ]** ボックスを使用して、必要な場合はメモを入力し、**[保存]** をクリックして情報を保存します。

新しい役割を有効にするには、ユーザーをログオフし、再度ログオンする必要があります。

ビジネス アカウントからのユーザーのブロックと削除

ビジネス アカウントからユーザーをブロックまたは削除することができます。

- ユーザーをブロックすると、そのユーザーのアカウントへのアクセスは取り消されますが、そのユーザーはアカウントのメンバーとして残り、ブロックを解除することができます。この機能は、アカウントの保守やその他の類似の作業を行う必要がある場合に、ユーザーを一時的にブロックするために使用できます。
- ユーザーを削除すると、そのユーザーはビジネス アカウントから完全に削除されます。そのユーザーを再びビジネス アカウントに招待することは可能です。

ビジネス アカウントからユーザーをブロックまたは削除するには、以下の手順に従います。

- 1 **[ダッシュボード]** でビジネス アカウントが選択されていることを確認し、右上の **[ビジネス プロフィール]** をクリックします。
- 2 右上の **[ユーザー]** をクリックします。
- 3 ユーザー名をクリックします。

4 開いたダイアログで、**[ブロック]** または **[削除]** をクリックします。

5 **[保存]** をクリックします。

そのユーザーには、ビジネス アカウントのメンバーシップがブロックまたはキャンセルされたことを知らせる電子メールが送信されます。ユーザーのブロックを解除したい場合は、上記の手順を繰り返し、**[ブロックの解除]** をクリックします。

Parallels RAS での Microsoft ライセンス要件

本セクションは、Parallels RAS 環境における Microsoft ライセンス要件を明確にするためのガイダンスとして使用するものであり、独占的なリストとして使用するものではありません。詳細については、Microsoft のライセンス パートナーにお問い合わせいただくことをお勧めします。

Microsoft のライセンス要件は以下のとおりです。

一般

- 使用する Windows サーバーおよびデスクトップ オペレーティング システム (OS)。
- アクセスする Windows Server OS は、Microsoft Windows Server クライアント アクセス ライセンス (CAL) でカバーされている必要があります。

RD セッションホスト

Windows Server がリモートでアクセスされる場合 (非管理作業のため)、リモート デスクトップ サービス (RDS) アクセス ライセンスが必要です。

- RDS CAL は、Windows Server 上でリモート デスクトップ サービスの機能を利用したいユーザーまたはデバイスに必要です。RDS CAL には、次の種類があります。
 - a RDS デバイス CAL : 1 台のデバイス (任意のユーザーが使用) に、サーバー上のリモート デスクトップ サービス機能を使用することを許可します。
 - b RDS ユーザー-CAL : 1 人のユーザー (任意のデバイスを使用) に対して、任意のサーバー上でのリモート デスクトップ サービス機能を使用することを許可します。
 - c RDS 外部コネクタ : 複数の外部ユーザーが 1 台のリモート デスクトップ サーバーにアクセスすることを許可します。複数のサーバーがある場合は、必要な Windows Server 外部コネクタに加えて、複数の外部コネクタが必要です。

RDS デバイス CAL と RDS ユーザー-CAL は、サーバーソフトウェアと同時に組み合わせることができます。RDS ユーザー-CAL または RDS デバイス CAL の他に、通常のユーザー-CAL またはデバイス CAL が必要です。

- RDS SAL は、コンピューティング リソースに作成された仮想マシン上に、Microsoft リモート デスクトップ サービス サブスクリイパー アクセス ライセンス (RDS SAL と呼びます) を提供するサービスです。これにより、3 人以上のユーザーがコンピューティング リソース内の特定の仮想マシンのリモート デスクトップ (RD Session Host) に接続することが可能になります (SPLA パートナー向け)。

続きを読む

- Parallels RAS における LMicrosoft のライセンス要件クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用した RDS デプロイメントのライセンス : <https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/remote/remote-desktop-services/rds-client-access-license>
- RDS ライセンス データシート : https://download.microsoft.com/download/6/B/A/6BA3215A-C8B5-4AD1-AA8E-6C93606A4CFB/Windows_Server_2012_R2_Remote_Desktop_Services_Licensing_Datasheet.pdf
- RDS CAL の概要と FAQ : <https://download.microsoft.com/download/3/D/4/3D42BDC2-6725-4B29-B75A-A5B04179958B/Licensing-Windows-Server-2012-R2-RDS-and-Desktop-Apps-for-RDS.pdf>
- Windows Server リモート デスクトップ サービスを使用した Microsoft デスクトップ アプリケーション ソフトウェアのライセンス : <https://www.microsoft.com/cms/api/am/binary/RE4Dz9q>

ハイパーバイザーと VDI

- 1 Microsoft Hyper - V をハイパーバイザーとして使用する場合、Microsoft Windows Server オペレーティング システム (OS) ライセンスが必要です。

続きを読む

- Windows Server 2019 ライセンス データシート
https://download.microsoft.com/download/7/C/E/7CED6910-C7B2-4196-8C55-208EE0B427E2/Windows_Server_2019_licensing_datasheet_EN_US.pdf
 - Windows Server 2016 ライセンス データシート
<https://download.microsoft.com/download/7/2/9/7290EA05-DC56-4BED-9400-138C5701F174/WS2016LicensingDatasheet.pdf>
- 2 バーチャル デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) を利用する場合は、Windows Software Assurance または Azure Virtual Desktop Access (VDA) のライセンスが必要です。Microsoft は、アクセスデバイスごとに Windows をライセンスしています。
 - バーチャル デスクトップへのアクセス権は、Windows クライアント ソフトウェア保証 (SA) の特典です。SA の対象となる PC を使用する予定のお客様は、追加料金なしで VDI デスクトップへのアクセスが可能です。
 - シンククライアントなど、Windows Client SA の対象とならないデバイスを使用するお客様は、Windows VDI デスクトップにアクセスするために、これらのデバイスに Azure Virtual Desktop Access (VDA) のライセンスを適用する必要があります。Windows VDA は、契約社員や従業員が所有する PC など、サードパーティーのデバイスにも適用されます。

続きを読む

- Windows 10 ライセンスポータル :
<https://www.microsoft.com/en-us/licensing/productlicensing/windows10?activetab=windows10-pivot:primaryr3>
- 仮想マシンで使用するための Windows デスクトップ OS のライセンス :
https://download.microsoft.com/download/9/8/d/98d6a56c-4d79-40f4-8462-da3ecba2dc2c/licensing_windows_desktop_os_for_virtual_machines.pdf

- VDI 環境用 Windows デスクトップのライセンス :

<https://docs.microsoft.com/en-us/answers/storage/temp/12620-microsoft-vdi-and-vda-faq-v3-0.pdf>

Microsoft Azure

Microsoft 365 や Microsoft Azure などの Microsoft Online ビジネスサービスでは、サインインと ID 保護のために Azure AD が必要です。Microsoft Online のビジネスサービスを契約すると、自動的に Azure AD が提供され、すべての無料機能にアクセスできるようになります。Azure AD の実装を強化するために、Azure Active Directory Premium P1 または Premium P2 ライセンスにアップグレードして、有償の機能を追加することも可能です。

続きを読む

- Azure AD の実装 : <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/activedirectory/fundamentals/active-directory-what-is>
- Azure ハイブリッドのメリット : <https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/hybrid-benefit/>

Azure Virtual Desktop

- Windows 10 Enterprise マルチセッションまたは Windows 10 Enterprise デスクトップとアプリへのアクセスは、ユーザー単位の次のいずれかのライセンスがあれば、追加費用なしで提供されます（計算、ストレージ、ネットワークの費用は除く）。
 - a Microsoft 365 E3 / E5
 - b Microsoft 365 A3 / A5 / Student Use Benefits
 - c Microsoft 365 F3
 - d Microsoft 365 Business Premium
 - e Windows 10 Enterprise E3 / E5
 - f Windows 10 Education A3 / A5
 - g Windows 10 VDA per user
- Windows Server 2012 R2 以降の Windows Server リモート デスクトップ サービスを利用したデスクトップへのアクセスは、ユーザーまたはデバイスごとの RDS CAL ライセンスと有効なソフトウェア保証 (SA) があれば、追加費用なしで提供されます（計算、ストレージ、ネットワークの費用は含まれません）。

続きを読む

- Azure Virtual Desktop の価格概要 : <https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/details/virtualdesktop/>

FSLogix

FSLogix Profile Container、Office 365 Container、Application Masking、Java Redirection の各ツールは、以下のいずれかのライセンスをお持ちの場合にご利用いただけます。

- Microsoft 365 E 3 / E 5
- Microsoft 365 A 3 / A 5 / Student Use Benefits
- Microsoft 365 F 1 / F 3
- Microsoft 365 Business
- Windows 10 Enterprise E 3 / E 5
- Windows 10 Education A 3 / A 5
- Windows 10 VDA per user
- Remote Desktop Services (RDS) Client Access License (CAL)
- Remote Desktop Services (RDS) Subscriber Access License (SAL)

FSLogix ソリューションは、ユーザーが適切なライセンスを取得していれば、公共または民間のデータセンターで使用することができます。

続きを読む

- FSLogix の概要 : <https://docs.microsoft.com/en-us/fslogix/overview>.

Microsoft SQL Server

Parallels RAS Reporting を使用する場合、SQL Server が必要です。SQL Server のインストールは、以下のものがベースとなる可能性があります。

- SQL Express は無料ですが、データベースサイズが 10 GB に制限されています。
- SQL Server 商用版の Standard または Enterprise、Core ベースのライセンスまたは Server + CAL ベースのライセンスを使用します。

続きを読む

- SQL Server 2019 ライセンスガイド : <https://download.microsoft.com/download/6/6/0/66078040-86d8-4f6e-b0c5-e9919bbcb537/SQL%20Server%202019%20Licensing%20guide.pdf>

App - V

App - V は単独ではライセンスされませんが、Microsoft Volume Licensing、Windows Software Assurance Microsoft、Remote Desktop Services (RDS) CAL などの他のライセンス契約に含まれ、より広い Microsoft ライセンス契約の一部となります。例えば、RDS CAL (ユーザー単位またはデバイス単位) を使用して、App - V クライアントを RD セッションホスト上で使用し、App - V アプリケーションを配信することができます。

App - V を正しくライセンスするためには、Microsoft Volume Licensing に詳しい Microsoft パートナー (ソリューションプロバイダー) と契約することをお勧めします (Microsoft パートナーのリスト : <https://pinpoint.microsoft.com/en-us/search?type=companies&competency=100010>) 。

その他の参考資料

Microsoft Volume Licensing 製品用語の詳細なリストについては、

<https://www.microsoftvolumelicensing.com/Downloader.aspx?documenttype=PT&lang=Englis> を参照してください。